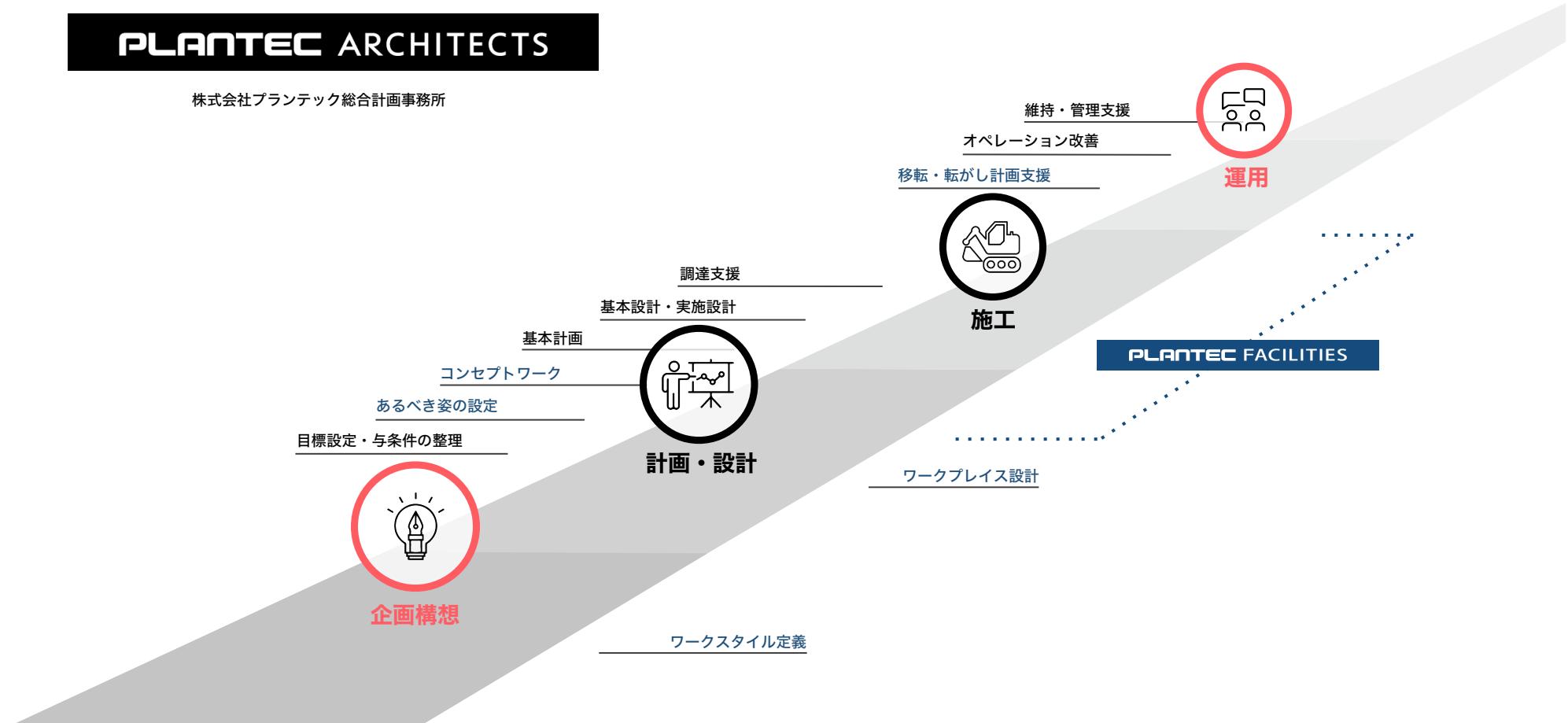


ワークスタイル・ワークプレイスコンサルティング

PLANTEC

るべき「働き方」を必要なフェーズで支援します

プランテックは経営戦略、組織課題や業務プロセスを踏まえ、改革の創発や企業価値の向上につながるワークスタイルの提案からワークプレイスの設計・施工、運用、ICT設備の導入までのサービスを一つからでもトータル的に支援してブレのない環境を構築します



ソリューション例

ワークスタイル・ワークプレイス改革の推進

課題

- ・経営効率を向上させるためにオフィス機能や業務体制の見直しが必要である
- ・テレワークを推進したいがそこに潜むリスクを考えるとなかなか採用できない
- ・新しいワークプレイスをつくりたいが手探りの状態である



社員が同じベクトルを持つオフィスとは何かを再定義

オフィスワークとテレワークの強みを活かしたワークスタイル・ワークプレイスを提案

社員の士気と

QOL* 向上

*QOL: 生活の質

環境整備により

業務効率向上

賃貸面積

1/2 削減

固定費

1 億円削減

ソリューション

オフィスを再定義

- ・ クライアントへ最大の成果を効率的に
生み出すための機能
- ・ 社会的な位置づけを示すための機能
- ・ 人と人、人とモノを結びつける物理的な機能
- ・ プロジェクトの見える化を進める機能



ミーティングスペース

組織のあるべき姿から ワークスタイルを提案

- ・ 部署ベースでなくプロジェクトベースの
チーム編成
- ・ テレワーク制度導入に伴うリスクを整理し
オフィスワークと連動した軽減策を提案
- ・ テレワークとオフィスワークの業務内容の定義づけ
- ・ デジタル化の促進



海外拠点とリアルタイムでのテレビ会議

個々の能力を最大化する ワークプレイスを提案

- ・ 必要なオフィス面積の算出
- ・ プロジェクトベースで効率的に仕事が進められる
自由なゾーニング計画
→フリーアドレス席
→全社員ヘロッカーを提供
- ・ 間接部門の集約
- ・ Web システムの環境整備

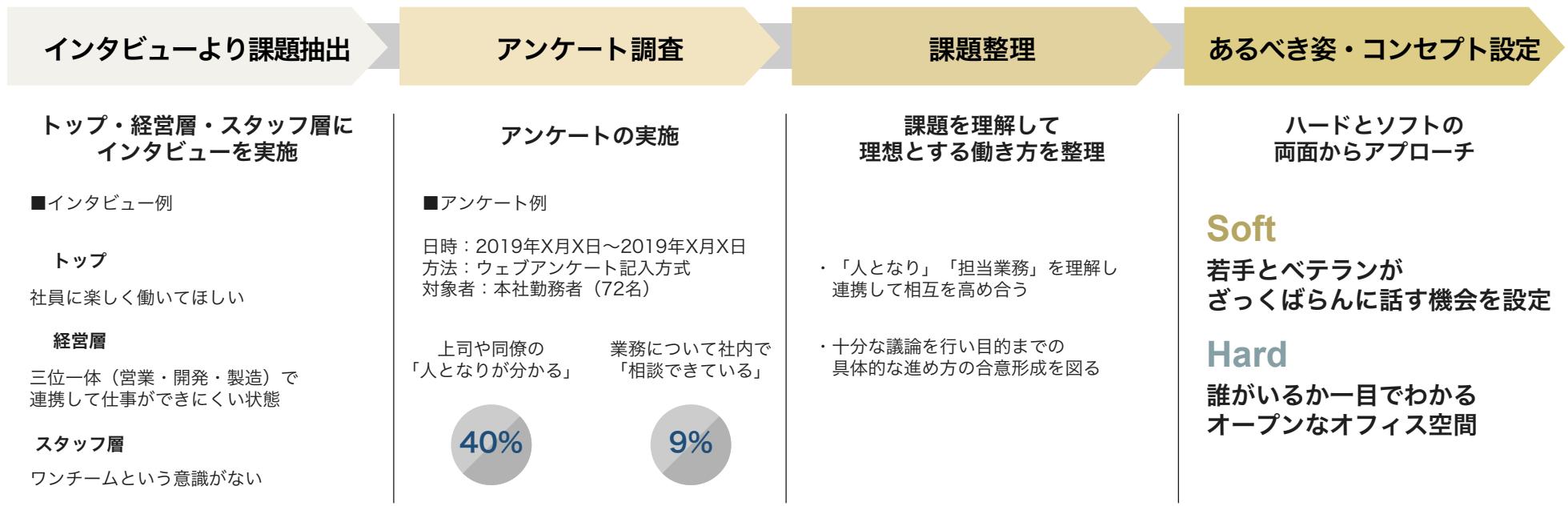


160 インチプロジェクターで図面検討

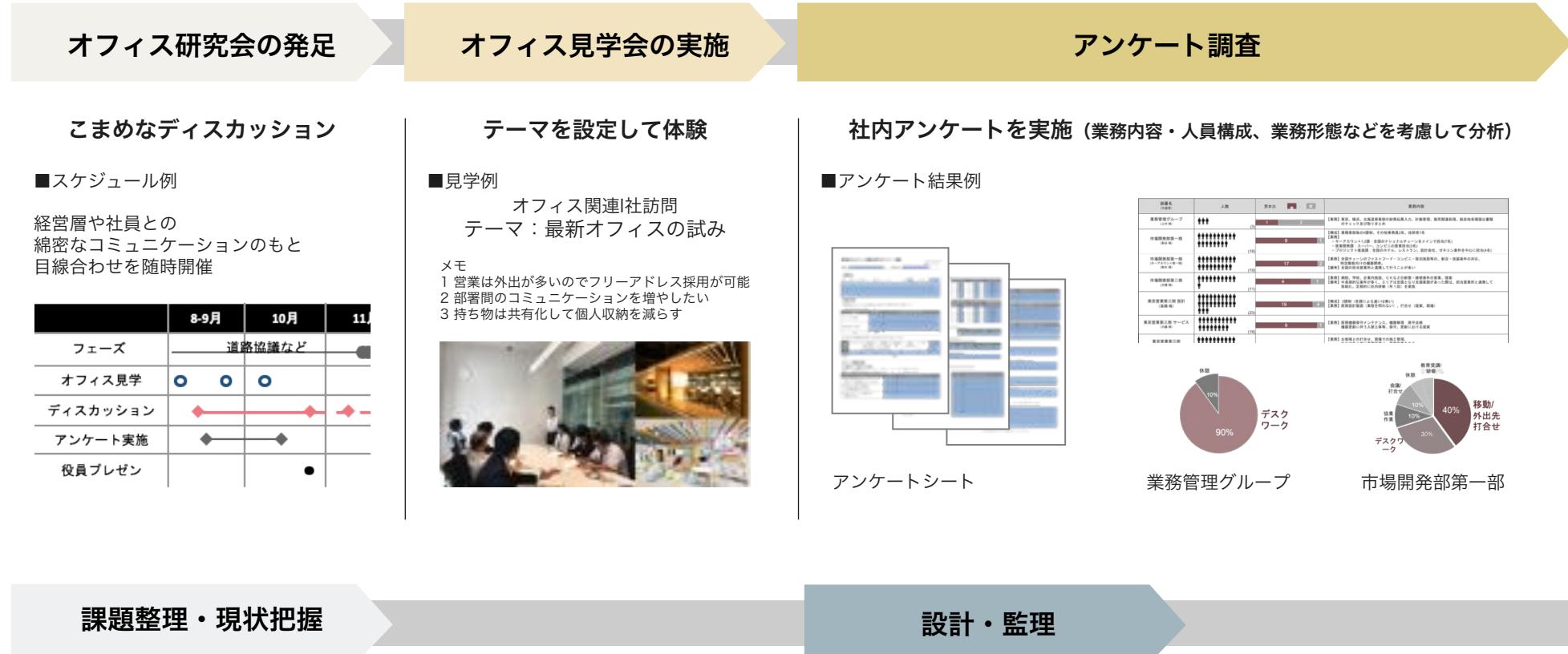
3つの課題

- 1 組織のアイデンティティを考慮した
ワークスタイルの構築**
- 2 働く人や将来の変化に柔軟な
ワークプレイスの提案**
- 3 改革を推進するための
スタンダードガイドラインの作成**

1 組織のアイデンティティを考慮したワークスタイルの構築（事例A）



2 働く人や将来の変化に柔軟な ワークプレイスの提案（事例F）



- ・ナレッジの共有がなされていない
 - ・コミュニケーションが少ない
 - ・紙媒体による業務が多い
 - ・・・など

自社の「強み」を活かしたプラットフォーム
自社の「アイデンティティ」を発信
自社の「ブランド価値」を向上させるスーパー・ハブ

- ▶ 異部署間コミュニケーションの促進
非効率的なシステムの見直し（生産性向上）
本社にふさわしい建築的ソリューション

3 改革を推進するための スタンダードガイドラインの作成（事例B）

背景

組織を「機能軸」→「事業軸」に変えたい

グループの複数拠点間の機能集約と最適なゾーニング
オフィス改革とITシステム・ツール利用の効果を最大化

ガイドラインをもとに一つの事業所からサンプル的にオフィス改革を試行

■目標設定

- ・業務の効率化・生産性の向上
- ・コミュニケーションの向上
- ・環境改善

詳細な検討項目

- ・拠点間移動の無駄
- ・時間の有効活用
- ・コミュニケーションスタイル
- ・決裁・承認
- ・相談プロセス・・・など

実施項目の設定

実施部署の設定

■各事業所で実施後アンケートを実施

実施項目 ほぼ全てのに対して「よい」との評価

サンプルオフィスの実施事項		
実施項目	結果	オフィス改革での対応事項
業務に必要な機能を設定	効率よく働ける 無駄な動きが少なくなった	部署ごとに必要な機能が異なるので、活動内容などの分担が必要
フリーアドレス席の設置	座る席を選択するようになりコミュニケーションの取り方が変化した	導入ユニバーシティ系と比べて、プロジェクトの内容などで席を決めるなど意識を変えていくことが必要
個人ロッカーや個別ワゴンの設定	レイアウト変更がしやすい プロジェクトごとに集まりやすい	手間のかからないレイアウト設定が必要

サンプルオフィスの結果と対応事項を整理した内容一例

1. 業務内容に適した機能設定

事務部門では集中スペース、設計部では一人当たりの面積を増やしたり、検討スペースを追加することで業務の効率化を図った

2. 部門に合わせた空間構成

長期出張が多い部署ではデスクを減らしてミーティングやDRスペースを増やしたことに対する肯定的意見が多かった

3. フリーアドレス席の運用

役員が自ら動き、話す必要のある人の隣の席に座ることがで社員間のコミュニケーションが円滑になった

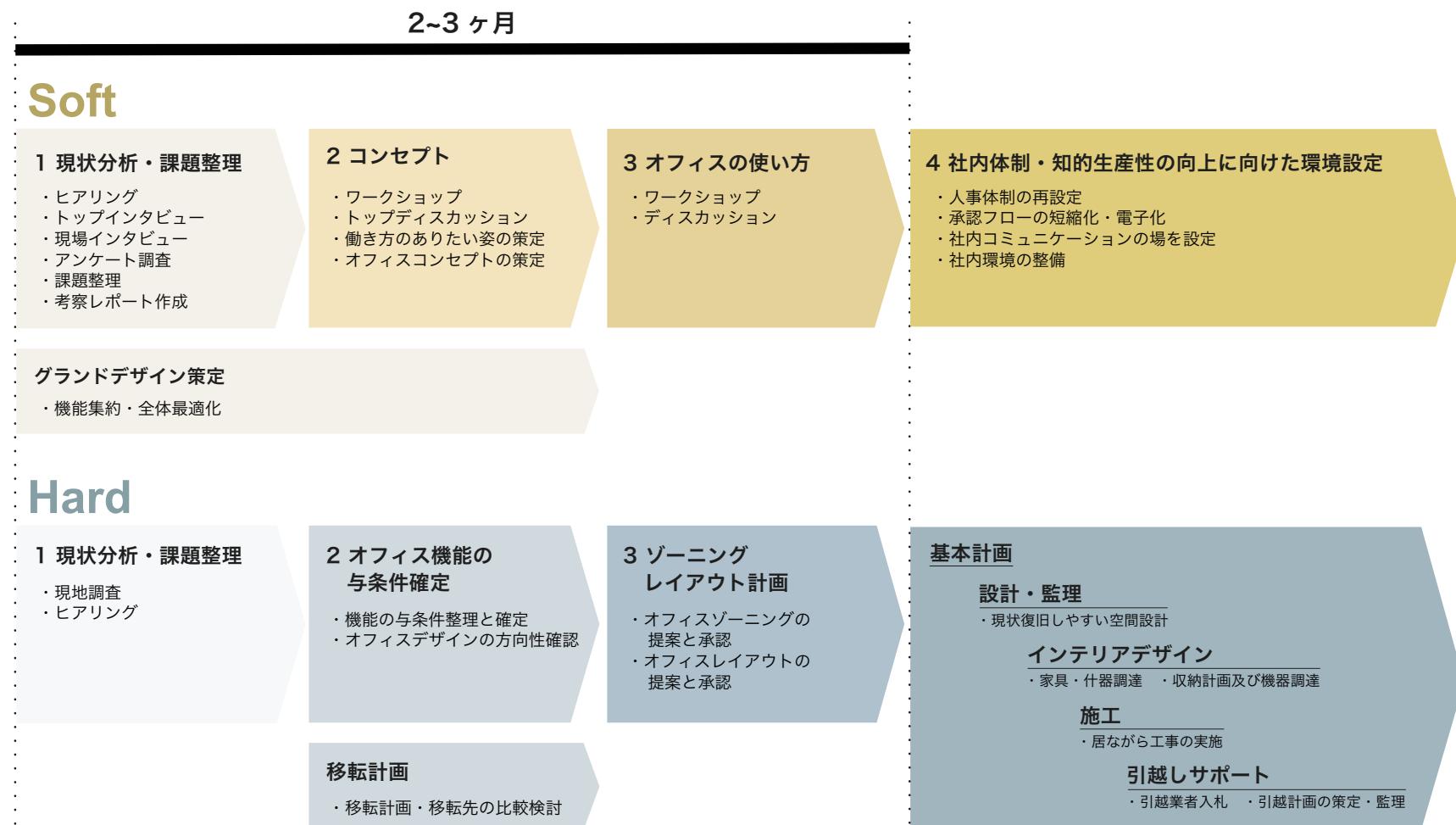
働き方のスタンダードガイドラインを本社に展開

進め方

社員の皆さまとのセッションのもと、ソフト・ハードの両面から検証を行います

御社のワークスタイル・ワークプレイスのあり方に沿って具体的な計画まで落とし込みます

一つのフェーズ、全てのフェーズを通してまた期間の短縮など、ご希望に応じてカスタマイズします



お問い合わせ先
<https://plantec.co.jp/contact/>
info@plantec.co.jp



PLANTEC